

第1部 決算説明

■平成29年3月期 第2四半期 連結決算概要

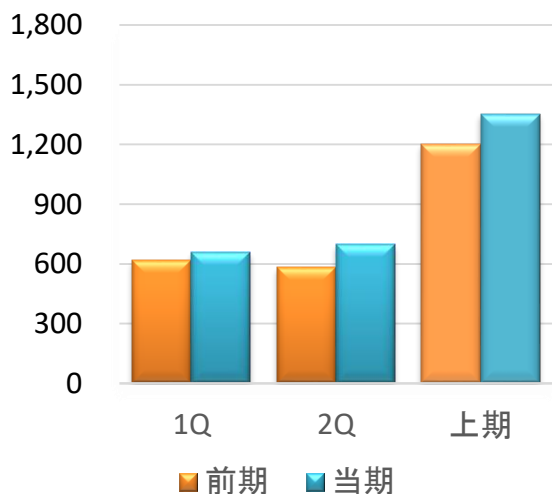
■平成29年3月期 第2四半期 前年同期比

※百万円未満切捨で表示

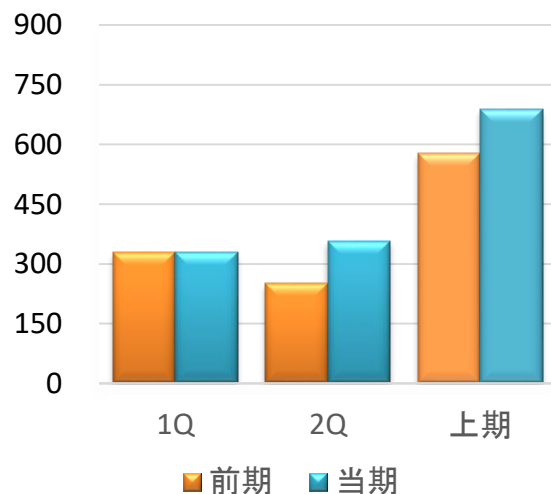
平成29年3月期上期は前年上期と比較し営業利益改善

	H28/3 1Q	H29/3 1Q	前期比	H28/3 2Q	H29/3 2Q	前期比	H28/3 上期	H29/3 上期	前期比	前期比 (%)
売上高	618	658	40	583	696	113	1,202	1,354	152	112.7
売上総利益	328	330	2	250	358	108	578	688	110	119.0
営業利益	101	81	△20	△83	86	169	17	167	150	953.6

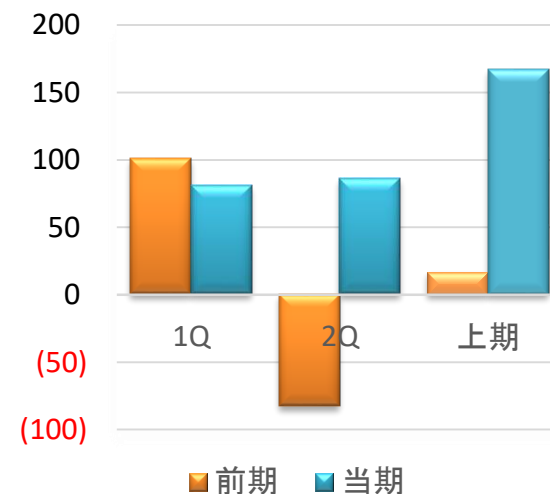
売上高



売上総利益



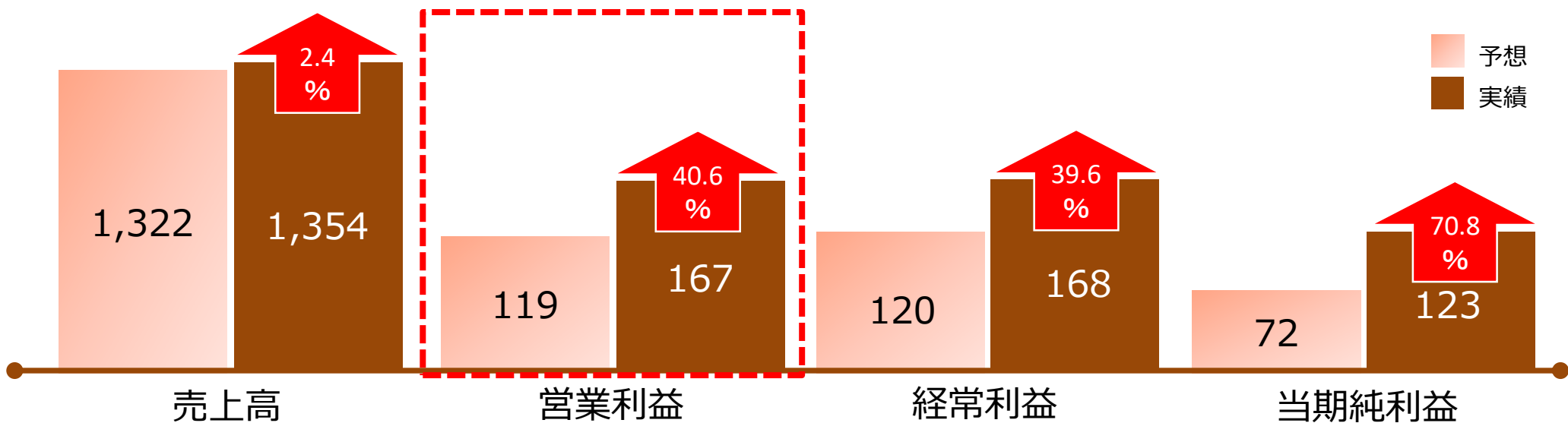
営業利益



■平成29年3月期 第2四半期 当初予想比較

※百万円未満切捨で表示

営業利益・経常利益・当期純利益は第2四半期予想を上回る



	H29年3月期 上期			
	予想※1	実績	増減	増減率
売上高	1,322	1,354	32	2.4%
営業利益	119	167	48	40.6%
経常利益	120	168	48	39.6%
当期純利益※	72	123	51	70.8%

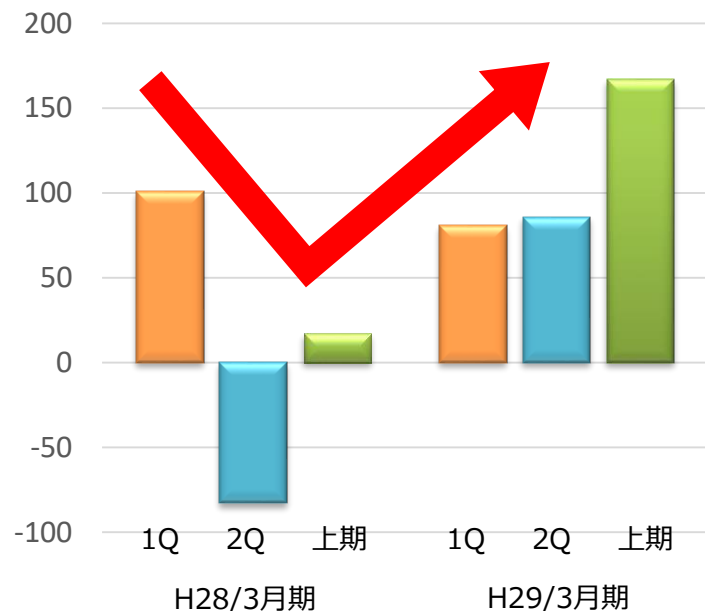
上期に予定していた消費者向けのプロモーション活動を下期に変更

※1 業績予想の修正前

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

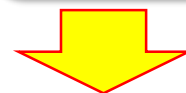
営業利益

	H28/3	H29/3	前期比
1Q	101	81	△20
2Q	△83	86	169
上期	17	167	150



«平成28年3月期 第2四半期»

- 内部統制不備による非効率的業務フロー、長期滞留債権による貸倒引当金積み増しによる利益圧迫



前下期より改善への取り組みを開始

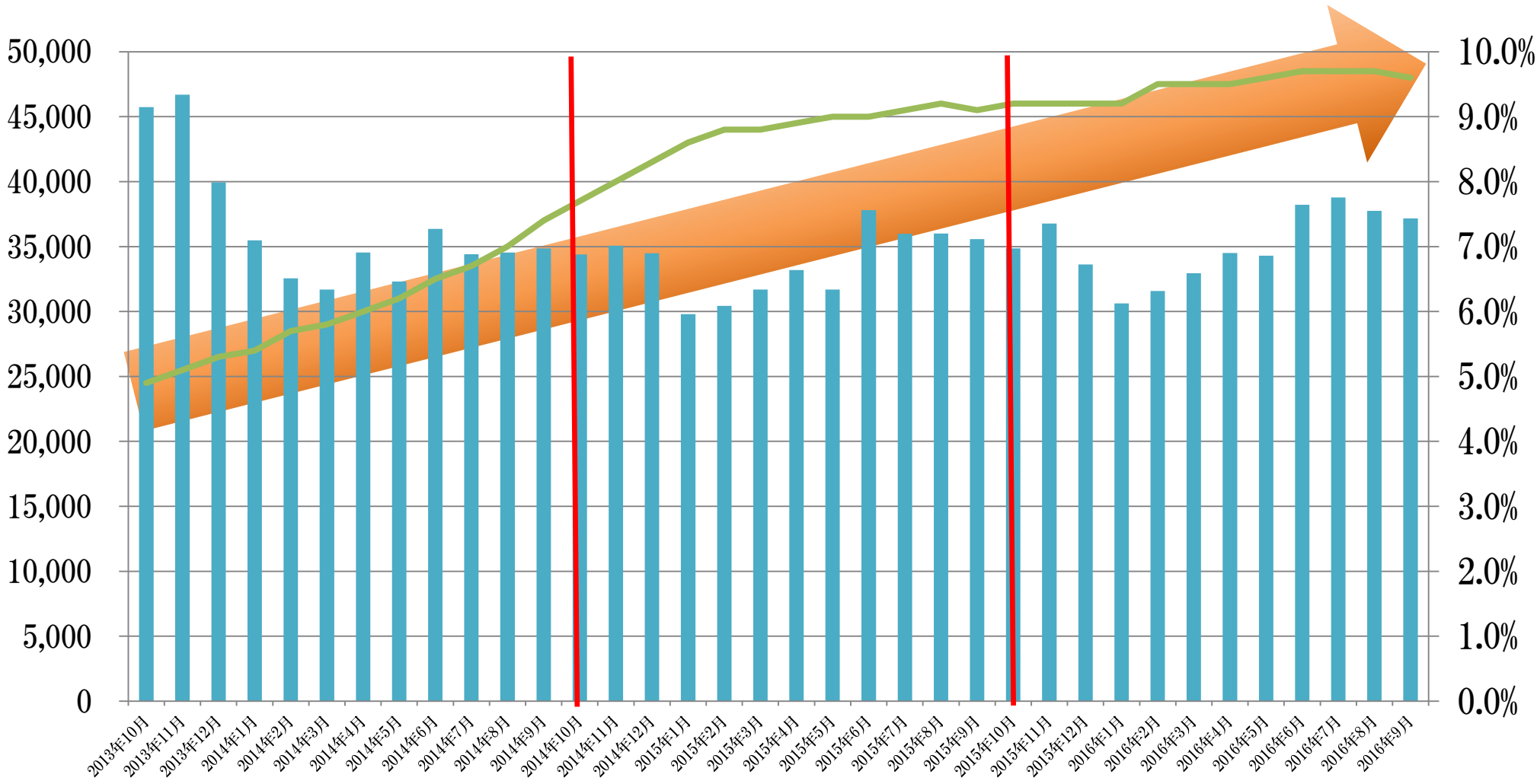
- 監査法人、監査役、内部監査の連携による三様監査を強化し、経営基盤の強化の推進
- 新スマート地盤システムの安定稼働により債権の徹底管理の実現



前期からの改善取組継続と営業力強化

- シェア拡大、iGP販売による営業利益増加
- 三様監査による業務フローの適正化、SJSによる債権管理により貸倒引当金繰入の防止による営業利益増加

■ 過去3年間の新築戸建て着工推移と補償推移



■平成29年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

※百万円未満切捨で表示

前期末から現預金が243百万円増加

	平成28年3月期		平成29年3月期_2Q		
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	増減額
資産の部	1,716	100.0	1,810	100.0	93
流動資産	1,547	90.1	1,611	89.0	64
(現金及び預金)	634	37.0	878	48.5	243
(受取手形及び売掛金)	472	27.5	457	25.3	△15
固定資産	169	9.9	198	11.0	29
負債の部	252	14.7	368	20.4	115
流動負債	208	12.2	321	17.8	112
固定負債	44	2.6	47	2.6	2
純資産の部	1,463	85.3	1,442	79.6	△21
株主資本	1,452	84.6	1,433	79.2	△18
(資本金)	490	28.6	490	27.1	0
(資本剰余金)	18	1.1	18	1.0	0
(利益剰余金)	943	55.0	974	53.8	30
(自己株式)	-	-	△49	△2.8	△49
その他の包括利益累計額	0	0	△1	△0.1	△2
新株予約権	10	0.6	10	0.6	0

利益増加と売上債権の回収等による増加

未払法人税・未払消費税の増加

自己株式の取得

■平成29年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書推移

※百万円未満切捨で表示

	H27/3 2Q	H27/3 4Q	H28/3 2Q	H28/3 4Q	H29/3 2Q
営業活動による キャッシュ・フロー	△223	△165	279	260	426
投資活動による キャッシュ・フロー	△96	△99	△19	△19	△39
財務活動による キャッシュ・フロー	△86	△142	△100	△142	△141
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△405	△406	160	97	243
現金及び現金同等物の 期首残高	943	943	537	537	634
現金及び現金同等物の 期末残高	538	537	697	634	878

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期から改善しプラスで推移

⇒前期末から現金及び預金残高は243百万円増加

■平成29年3月期 連結業績予想

※百万円未満切捨で表示

	平成28年3月期 実績			平成29年3月期 予想					
	上期	下期	通期	上期(実績)	前期比	下期	前期比	通期	前期比
売上高	1,202	1,182	2,384	1,354	112.7%	1,277	108.0%	2,631	110.3%
売上総利益	578	634	1,212	688	119.0%	739	116.6%	1,428	117.8%
営業利益	17	195	213	167	953.6%	53	27.5%	221	103.9%
経常利益	20	195	215	168	840.0%	55	28.4%	223	103.6%
当期純利益	3	128	131	123	-%	10	8.4%	134	101.7%

- 積極的な営業展開により新規顧客獲得によるシェア拡大に伴う件数増加
- 主力商品を付加価値商品の「地盤安心住宅」「地盤安心住宅PLUS」へ転換し販売単価是
- FC拡大と調査機器拡販による収益貢献
- 新業務基幹システムによる業務効率化により経費削減
- 件数増加対応として上期に調査機器販売の拡販を実施するため下期は上期に対して売上減少
- 中長期的な成長のための投資計画による経費増加で下期は減益

上期のGP販売拡大により、下期はGP売上減少

4月販売開始のiGPの販売促進

シェア拡大、調査機器拡販、FC拡大で売上増

上期に予定していた消費者向けのプロモーション活動、全自動化向けシステム投資、不動産ポータルサイトの開発、優秀な人材の確保（採用・教育）等の中長期投資により下期営業利益減少

■当資料取り扱い上のご注意


本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が2016年11月18日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。



家を選ぶことは
「地盤」
を選ぶこと



第2部 事業計画



幸せは
JIBANの上に築かれる。

2016年11月

地盤ネットホールディングス株式会社
代表取締役社長 山本 強

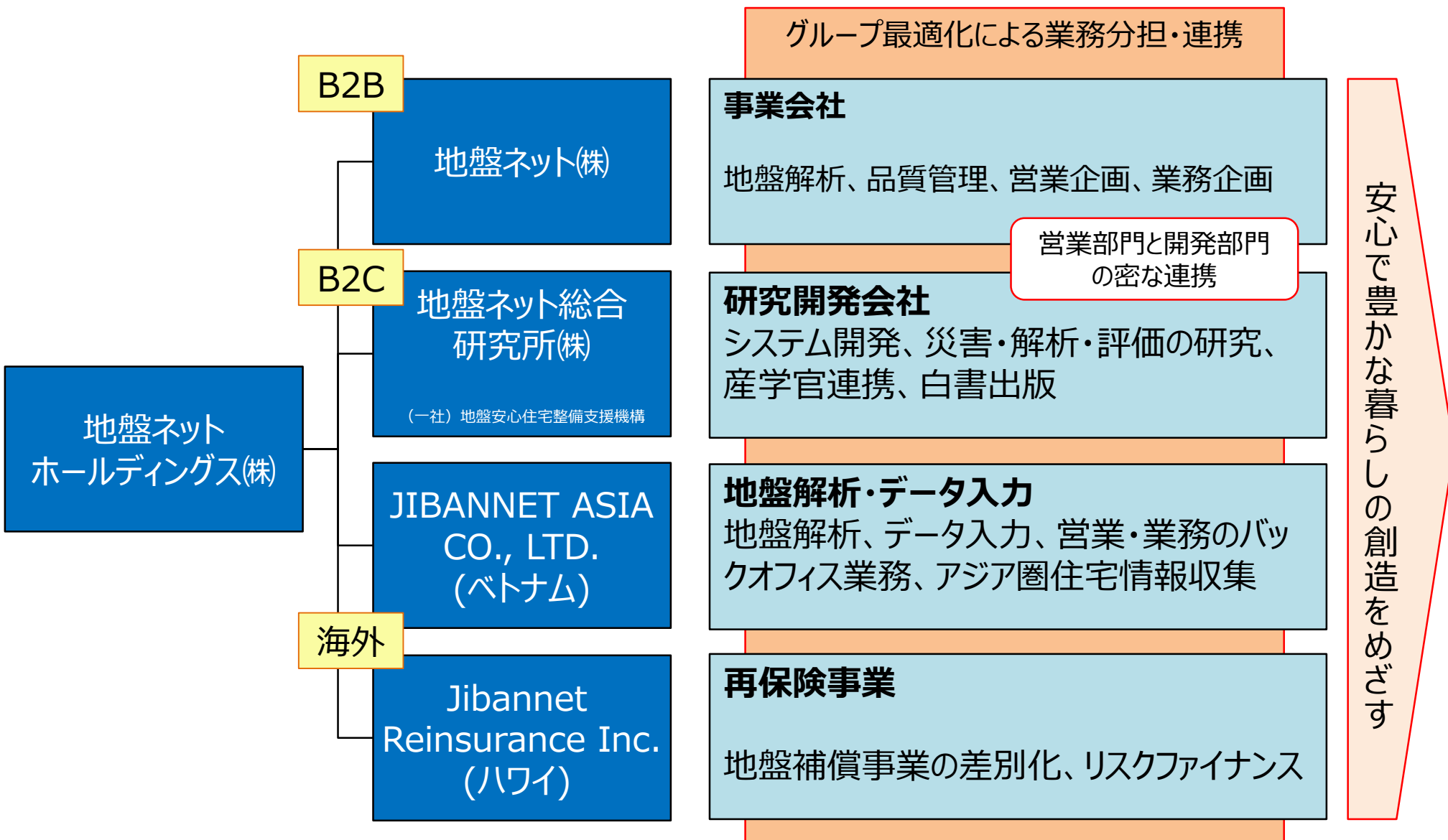
会社概要

会社名	地盤ネットホールディングス株式会社	
設立年月日	2008年6月25日	
代表者	代表取締役 山本 強	
資本金	4億9,040万円（平成28年3月31日現在）	
上場市場	東京証券取引所マザーズ	
事業 グループ	地盤ネット株式会社	
	設立年月日	2014年10月1日
	代表者	山本 強
	資本金	3億円（平成28年3月31日現在）
	拠点	東京本社（東京都中央区）
		北海道支社（北海道札幌市）
		東北支社（宮城県仙台市）
		中部支社（愛知県名古屋市）
		関西支社（大阪府大阪市）
		九州支社（福岡県福岡市）
JIBANNET ASIA CO., LTD（ベトナム ホーチミン）		
Jibannet Reinsurance Inc.（アメリカ ハワイ）		
地盤ネット総合研究所株式会社（東京都千代田区）		

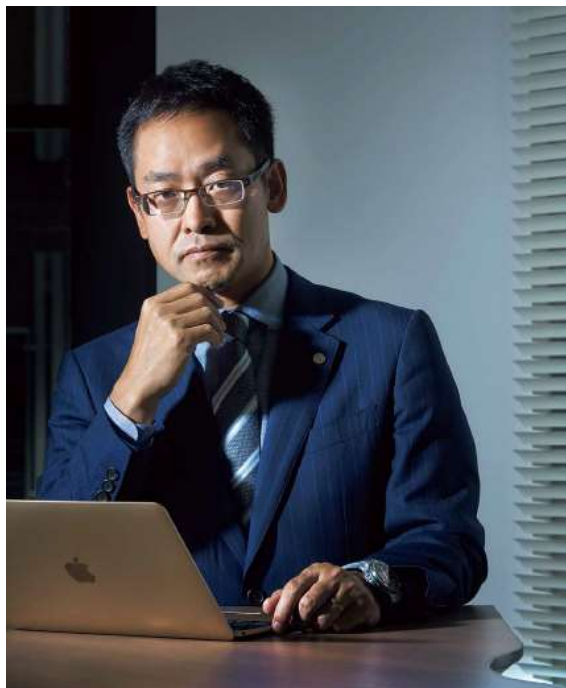
【沿革】

- 2008.06 地盤ネット株式会社設立
- 2012.12 東証マザーズ上場
- 2013.07 JIBANNET ASIA CO.,LTD 設立
- 2014.10 地盤ネットホールディングス株式会社へ社名変更
持株会社体制に移行
- 2015.02 Jibannet Reinsurance Inc.設立
- 2016.07 地盤ネット総合研究所株式会社 設立

地盤ネットグループ機能組織図



地盤ネットHDグループCEO 山本 強



Tsuyoshi Yamamoto

【プロフィール】

- 1966.06 大阪府生まれ
- 1990.04 関西学院大学法学部卒業後 証券会社に入社
- 1994.10 住宅メーカーに入社
- 1997.07 大手地盤会社に入社
- 2014.08 (一社)地盤強靱化推進協議会 代表理事就任**
- 2015.01 (一社)40'sエンジェル/フォーティーズエンジェル 代表理事就任**
- 2015.11 電子国土賞2015 (PC部門) 受賞**
- 2015.12 著書「その土地を買ってはいけない」 (幻冬舎) を出版**

【著書】



40's 一般社団法人
Angel Association **40'sエンジェル**

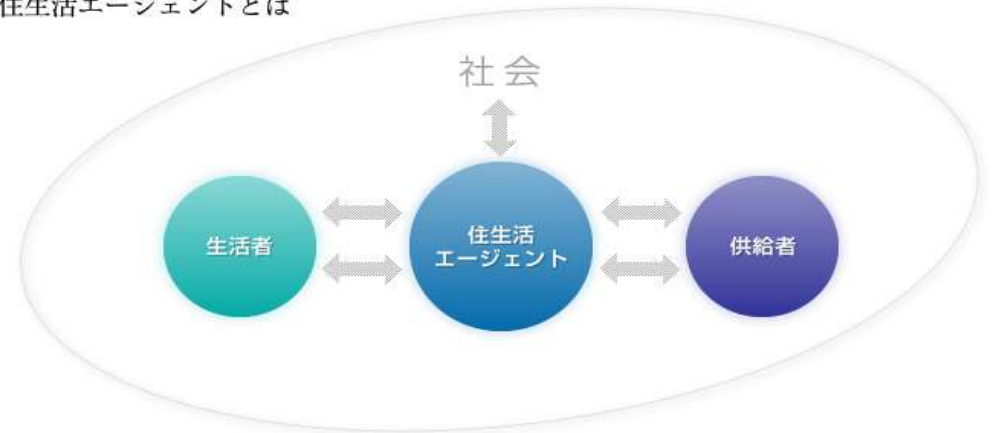
多様な社会経験を積み、40代となった方々の起業を後押ししたい。
それが、40代からの起業を支援する「一般社団法人40'sエンジェル（フォーティーズエンジェル）」です。

経営理念

地盤ネットは生活者と供給者の情報格差を埋める「住生活エージェント」

“生活者の不利益解消”
という正義を貫き、
安心して豊かな暮らしの
創造をめざします。

住生活エージェントとは



住宅産業関連ニュービジネス支援事業（消費者エージェントビジネス調査研究）
報告書掲載版 2006年3月 経済産業省（委託先：株式会社三菱総合研究所）より

地盤業界

地盤調査・解析

利益相反

改良工事

同一会社の請負い

過剰な改良工事に繋がりがやすい

不透明

地盤ネット

地盤調査・解析

Fire Wall

改良工事

地盤調査・解析専門会社

利益相反の防止

全過程を透明化(見える化4STEP)

業界初

“改良工事を
受注しない”
地盤解析専門会社

1. 創業期

地盤革命でビッグデータを蓄積

ホップ! ステップ! ジャンプ!

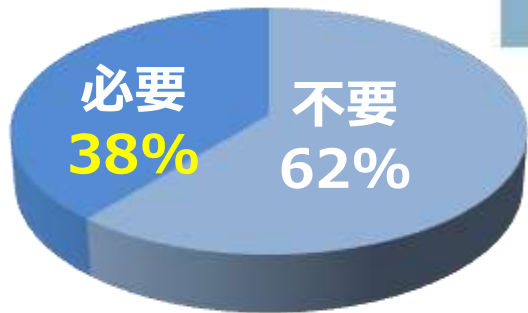
地盤セカンドオピニオン®



30,000棟超
過剰な
改良工事削減

再解析の結果

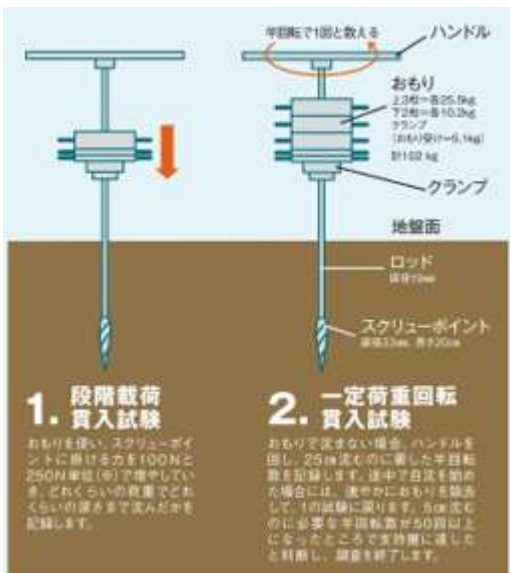
地盤改良工事が **必要** 38%
不要 62%



- ① 過剰な地盤改良工事の削減、
- ② 見逃されていたリスク有り地盤での対策提言の2つの仕組みにより、安心して結びつきます。



地盤調査機械の開発



手動



GPI・GP II 半自動



完全クローズドシステム
デジタル重機

iGP 全自動

土質サンプラー
水位測定機

「地盤」「地震」に関連した、
核心的なテクノロジーと被災
地現地調査によって得られた
知見を基に、平時から有事に
活用できる、様々な製品・技
術の開発

製品・技術力による
解析精度向上



地盤調査機
の
無人化
ロボット化



地盤安心住宅®

地盤調査から地盤補償までのワンストップサービス

地盤調査から解析・対策・補償までの一貫サービスを提供
「地盤安心住宅」

必要約17%

地盤調査から過剰な改良工事を削減
「グラウンド・プロ」は35,000棟突破!

不要約83%

地盤ネット

調査結果の見える化

● 地盤調査
手動式調査の利点である「おもりによる荷重方式」を採用し、JIS規格と原理的に整合性の高い調査を半自動式で実現。調査精度と操作性の向上を両立させた「グラウンド・プロ」により、安心・安全の地盤調査を提供します。

● 精度の高い地盤調査を実現する「グラウンド・プロ」の特長

- JIS規格準拠の半自動スウェーデン式サウンディング試験機「グラウンド・プロ」は、多くの編成データが蓄積されている手動式と同等でも半自動式の試験機であり、影響が小さいです。「グラウンド・プロ」は人間の動作に依存せず、自動的動作により、負担軽減が可能なこと、手動式と同様の高圧荷重が可能なこと、検査結果がデジタルで蓄積され、いつでも確認が可能です。
- ロード入力の信頼性を確保、超長自動的により調査結果の信頼性が向上。ロード入力の信頼性を確保し、超長自動的により調査結果の信頼性が向上。ロード入力の信頼性を確保し、超長自動的により調査結果の信頼性が向上。

■グラウンド・プロによる地盤調査数
「グラウンド・プロ」利用累計 35,000棟突破

年度	調査数
2012年度	3,500
2013年度	8,955
2014年度	9,555
2015年度	11,000

解析基準の見える化

● 高度解析
国土交通省告示をはじめとする関係法令を遵守した解析プロセス、日本建築学会が示す指針や取組担保保険設計施工基準にも基づいた高度解析によって、過剰な地盤改良工事を削減します。

● 報告
調査から解析の結果を「地盤調査報告書」・「地盤解析判定書」で報告。また、ベタ基礎判定の場合は、詳細な計算書を提供します。

● 対策提案
調査・解析結果に基づいて最適な基礎仕様・軟弱地盤対策を提案します。

● 高度解析の見える化
1. 地盤調査データの確認
2. 建物の自重による沈下、地盤の変形などを確認
3. 周辺状況・造成状況等のロケーションを確認

● 報告の見える化
地盤調査報告書、地盤解析判定書、地盤改良工事見積書

● 対策提案の見える化
基礎仕様・地盤改良工事の補償内容

● 必要 17.6%
不要 82.6%
ベタ基礎判定 74.6%

改良工事の見える化

● 設計審査補償
工事判定には第三者の立場から地盤改良工事の工法・金額・施工内容の妥当性をチェックし、安全と安心を守ります。

● 改良工事検査
希望により、「地盤インスペクター」が改良工事現場を検査。適切な改良工事が行われているかを検査します。

● 設計審査補償
設計審査・改良工事検査補償・地盤補償

● 改良工事検査
希望により、「地盤インスペクター」が改良工事現場を検査。適切な改良工事が行われているかを検査します。

補償内容の見える化

● 地盤ロングライフ補償®制度
初期補償として20年間・最高5,000万円まで対応。定期点検を受けることで、20年毎の補償更新が可能です。

● 補償内容の見える化
初期補償として20年間・最高5,000万円まで対応。定期点検を受けることで、20年毎の補償更新が可能です。

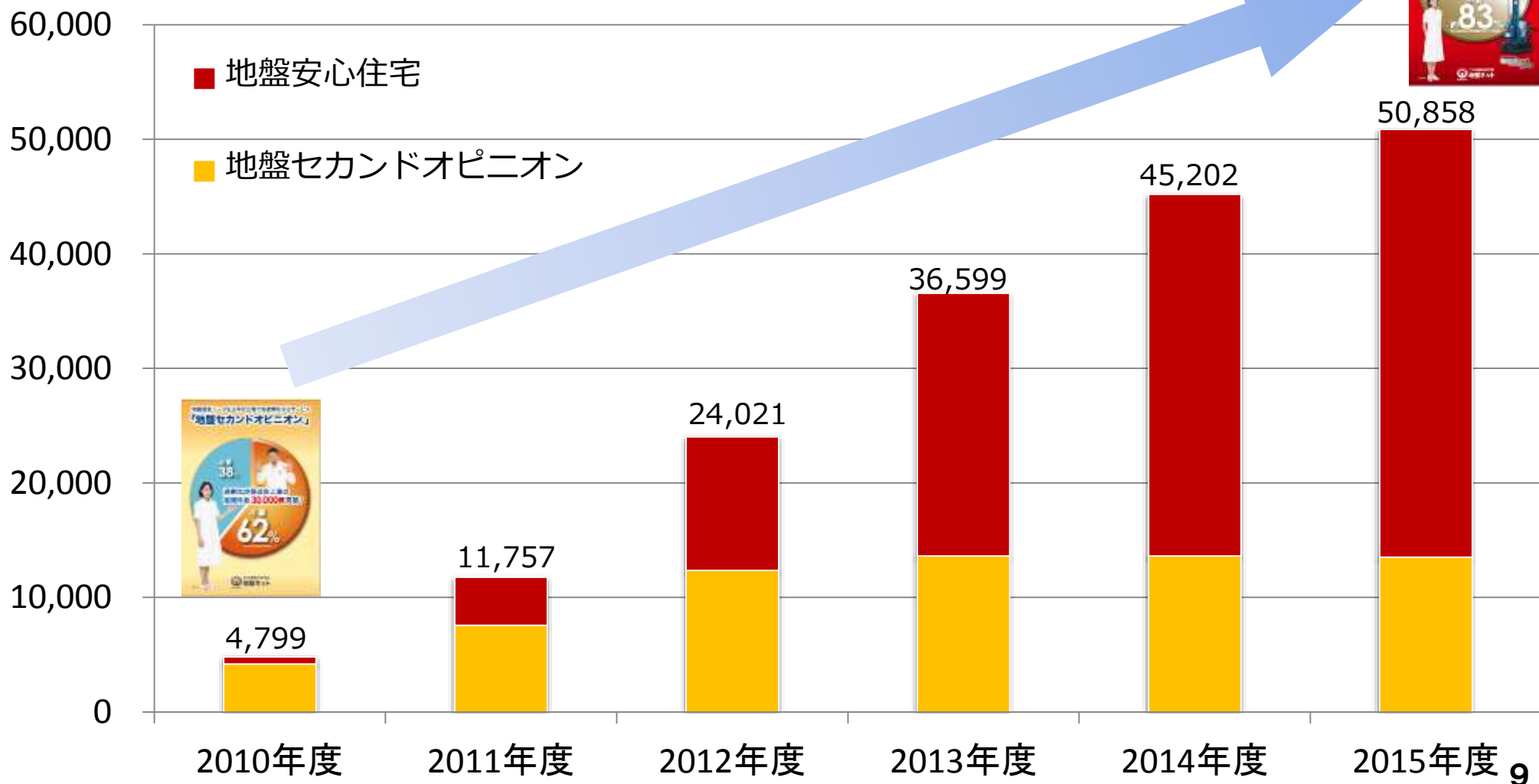
● マスクマネジメント体制
地盤ネット(株)と関係会社との連携体制

JIS規格準拠の地盤測定機「グラウンド・プロ」で地盤調査の信頼性を高めた結果、82.6%の宅地で地盤改良工事「不要」と判定!

改良工事を受注しない地盤ネットが、一貫して運営管理する地盤安心住宅®。全国で利用が広がっています。



「地盤セカンドオピニオン」「地盤安心住宅」による 「地盤革命」で生活者の不利益解消を実現



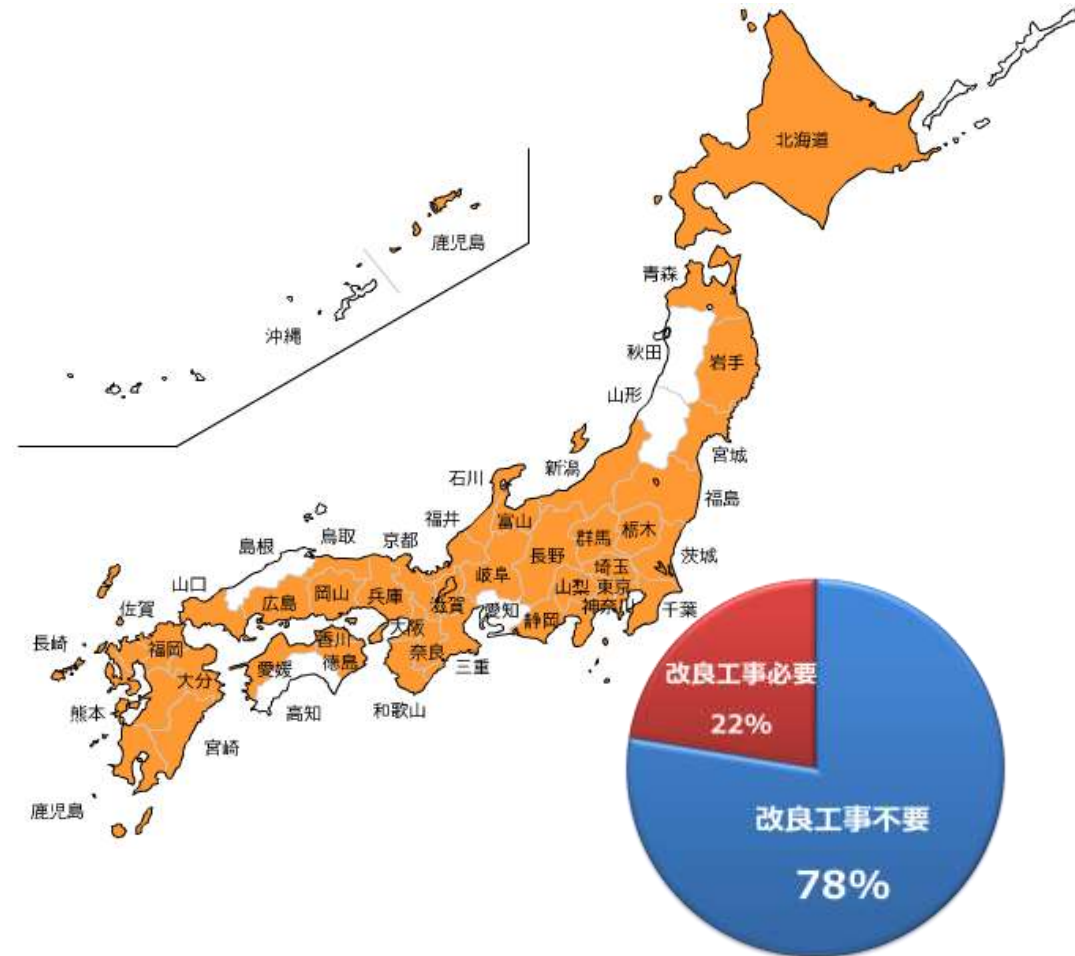
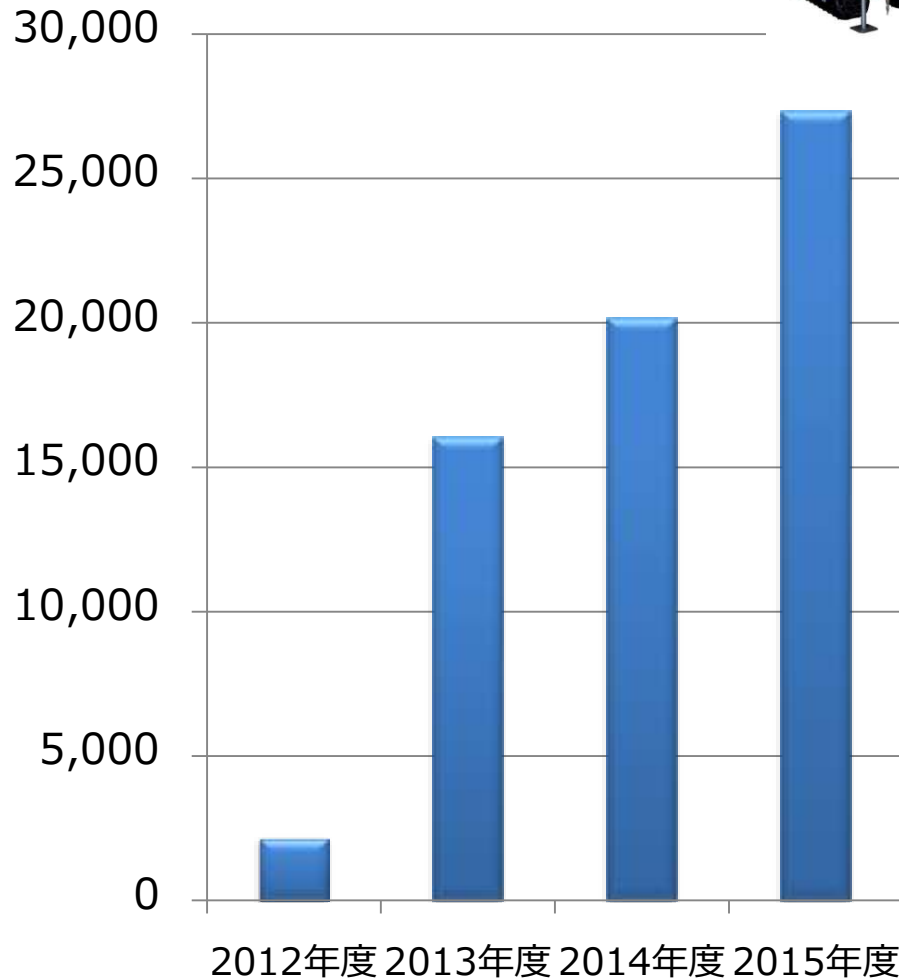
グラウンド・プロシリーズの実績

GPシリーズ利用累計
70,000棟 突破！



GPシリーズ
全国**163**台配置！

※2016年11月18日現在

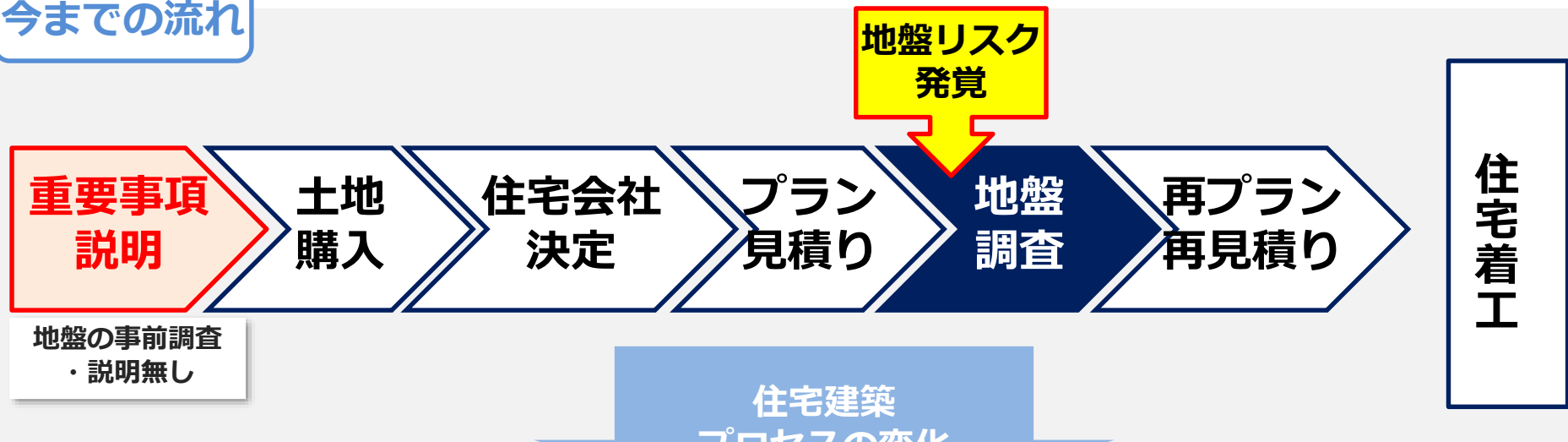


2. 上場後 ビッグデータを見える化する

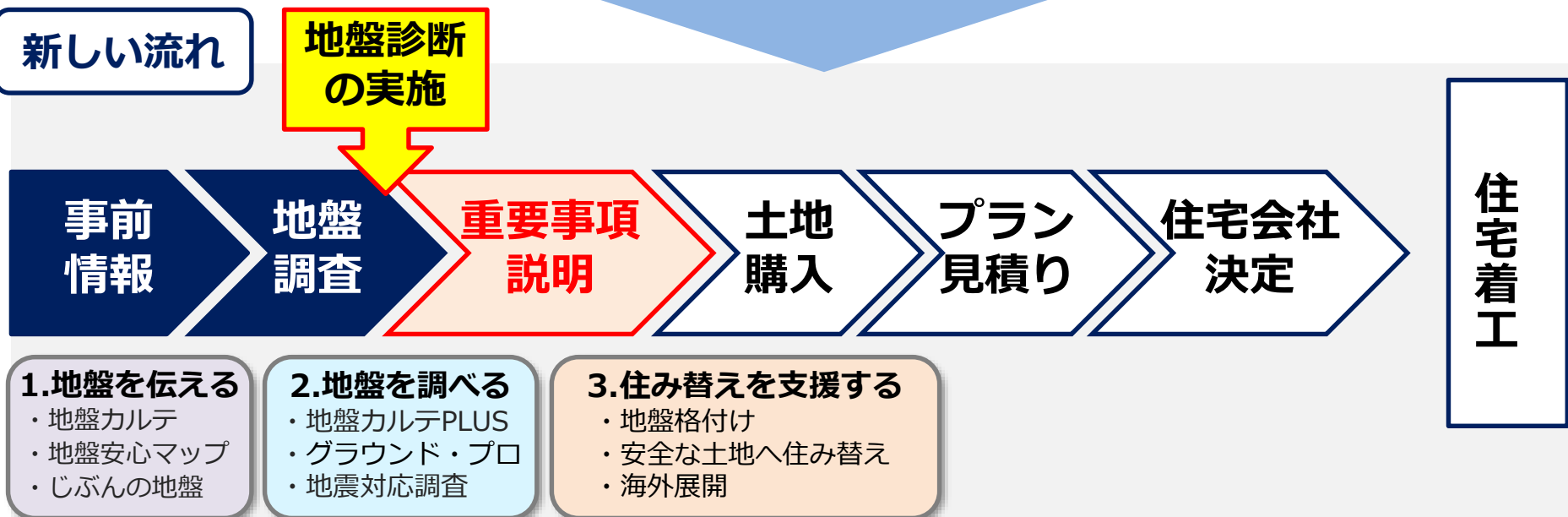
ホップ！ **ステップ！** ジャンプ！

土地購入のパラダイムシフト

今までの流れ



新しい流れ



地盤安心マップ

16項目の地盤情報を集約したマップを無料で公開。地盤情報が地図上で一目瞭然に。



http://www.jibanmap.jp/

使い方01
地盤安心マップで検索

使い方02
住所を入力して検索ボタンをクリック

使い方03
ポップアップ内の情報を確認

使い方04
様々な地盤情報を確認

それなら地盤安心マップで事前確認！まずはアクセス！

地盤カテゴリーを申し込む

標高 ※1: 2.8 m
地形 ※2: 人工地形
地質 ※3: 後期更新世・元新世(H)の海成または非海成堆積岩類

重ね合わせ情報

- 地盤ネット判定マップ
- 旧版地形図
- 航空写真 (1974~1978年)
- 航空写真 (1979~1983年)
- 航空写真 (1984~1988年)
- 航空写真 (1989~1990年)
- 標高マップ
- 地質区分図 (自衛隊調査情報)
- 日本シームレス地質図
- 土砂災害危険箇所マップ
- 地震動予測地図 (環境省)
- 地震動予測地図 (国土交通省)
- 自治体液状化ハザードマップ
- 活断層マップ
- 避難所データ

出典: Google航空写真

重ねあわせ情報選択

地盤ネット判定マップ / 旧版地形図 / 4年代航空写真 (国土地理院) / 標高マップ (国土地理院) / 地形区分図 (国土政策局) / 日本シームレス地質図 (産総研) / 土砂災害危険箇所マップ (国土交通省) / 震度6強・震度5強地震動予測地図 (J-SHIS地震ハザードステーション) / 自治体液状化ハザードマップ (各自治体) / 活断層マップ (環境地質) / 災害履歴図 (国土政策局) / 避難所データ (国土交通省)

「地盤安心マップ」では、土砂災害などの地盤災害リスクや、埋立地かどうかなどの地形地質情報が多数集約・掲載されている。

地盤に関する様々な情報をまとめて確認し、同時に重ね合わせることで複合的な情報が入手できます。

地盤安心マップ® PRO

～2015年3月10日リリース～

●地盤情報(事前情報)の見える化決定版ツール 「地盤安心マップ® PRO」

事業者向け有料サービス

- ・42項目の情報が満載
- ・iPadアプリ、ブラウザで利用可能
- ・詳細なマップシステム

【ログインURL】<https://www.jibanmap.jp/pro/login.php>

【マイページ】<https://web.jibanmap.jp/mypage/login>

【価格】税抜5,000円/月(24か月契約)

現在の、
総利用登録数は、

524アカウント

※2016年11月18日現在

NEW!
リリース



Available on the
App Store

【自社物件マップ】

- 1.地盤安心不動産マップ(物件登録・カルテスコア表示)
- 2.自社物件地盤調査マップ

【地盤調査関連マップ・データ】

- 3.地盤ネット判定マップ
(改良要不要+長期許容支持力表示)
- 4.SWS試験データ閲覧機能(近隣データ確認用)
- 5.SWS試験による調査深度マップ
- 6.SWS試験による自沈層マップ
- 7.改良工事工法・深度マップ
- 8.ボーリング柱状図データ
- 9.孔内水位マップ

【土地履歴関連マップ】

- 10.明治時代の低湿地図(関東・近畿)
- 11.旧版地形図
- 12.航空写真(1945～1950年)
- 13.航空写真(1961～1964年)
- 14.航空写真(1974～1978年)

- 15.航空写真(1979～1983年)
- 16.航空写真(1984～1986年)
- 17.航空写真(1988～1990年)

【地形・地質等マップ】

- 18.標高データ
- 19.地形区分図(自然環境条件図)
- 20.土壌図
- 21.日本シームレス地質図
- 22.土地条件図

【災害関連マップ】

- 23.地震による揺れやすさマップ
- 24.液状化の可能性マップ
(※自治体ハザードマップとは異なる)
- 25.浸水の可能性マップ
- 26.土砂災害警戒区域マップ
- 27.土砂災害危険箇所マップ
- 28.地震動予測地図(震度6強)
- 29.地震動予測地図(震度5強)

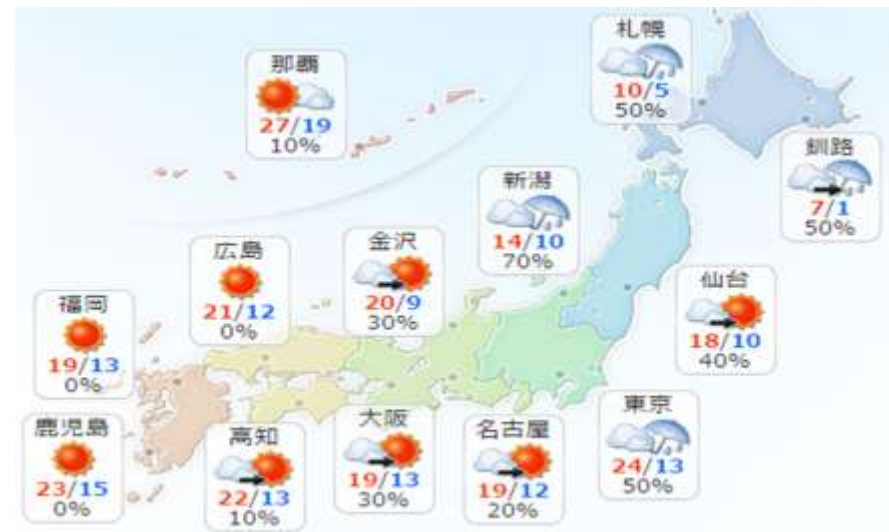
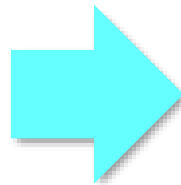
- 30.活断層マップ(詳細版)
- 31.浸水想定区域マップ
- 32.災害履歴図
- 33.避難所マップ

【不動産関連マップ・機能】

- 34.地価公示・都道府県地価情報表示
- 35.用途地域マップ(2011)
- 36.小学校区マップ
- 37.中学校区マップ
- 38.土壤汚染対策法要措置区域等表示
- 39.距離測定機能
- 40.面積測定機能
- 41.住所逆検索機能
- 42.「地盤カルテ」自動メール配信機能
(各社様の「地盤安心マップ®PRO」から発行した地盤カルテのメール配信情報が届きます)

地盤カルテ ー開発コンセプトー

わかりにくかった地盤情報を、誰でもわかる情報へ！
直感的にわかりやすい「降水確率」として！



地盤カルテ ～2015年1月27日リリース～

地盤カルテの特徴 – 事前情報の見える化 –

地盤の安全性と不動産価格の比較が一目瞭然

無料



✓診断件数18万件突破！

✓特許出願中 日本初のシステム

✓多くの住宅会社で活用中！

【地盤リスクの総合目安】

- ・地盤改良比率
- ・浸水リスク
- ・地盤による揺れやすさ
- ・土砂災害リスク
- ・液状化リスク

【公示地価情報】

- ・近隣の公示地価情報
- ・対象地
(カルテを出した地点)の用途地域
- ・近隣公示地点の標準地番号
- ・公示地点までの距離
- ・公示地点の用途地域

地盤カルテ取得方法

01 「地盤カルテ」で検索

QRコードから
サイトにアクセス！

<http://jibannet.co.jp/karte>

02 調べたい住所を入力

住所:

03 「地盤カルテ」発行！

じぶんの地盤アプリ ～2016年8月1日リリース～

JIBUN
no
JIBAN

じぶんの地盤をビジュアルに表示するアプリケーション

リアルタイムで
地盤の様子を見える化します

すべてのモバイルに対応
安心度をカラーでわかりやすく表示



地盤ネットのデータベース
+
モバイルの位置情報
↓
いつでも、どこでも
安心を確認



あなたの今いる所は安心ですか？

現在の、
総利用ユーザー数は、

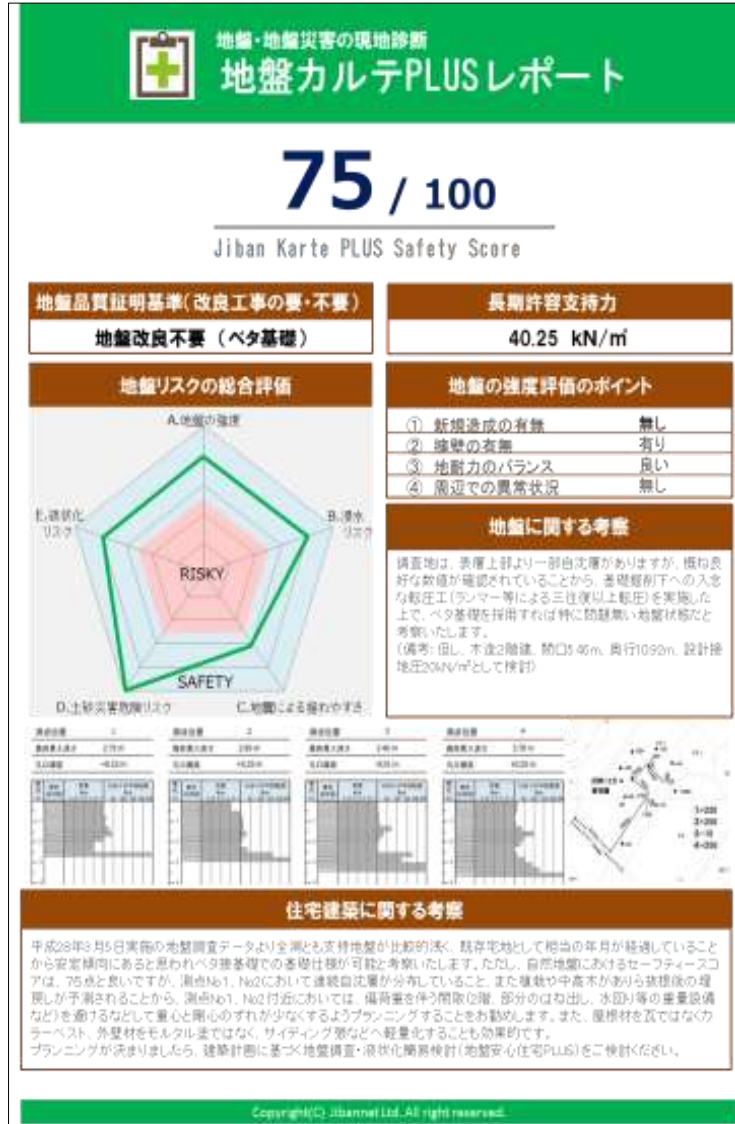
63,260ユーザー

※2016年11月16日現在



地盤を正しく知れば地震は怖くない
地震から世界中の人々を守る

地盤調査サービスを消費者に直接提供



費用：5万円(税別)

「地盤カルテPLUS」リリース！(2016/3/11)

- ・SWS調査+土質採取+水位測定
- ・圧密沈下検討と、簡易液状化判定
- ・調査に基づいた地盤のスコア
- ・敷地の概略情報
- ・地盤と建物のプロが推奨する住宅の建て方

【地盤カルテ®PLUSレポート】

- ・ 現地における地盤調査から得られる現実的なスコア
- ・ 通常の戸建住宅の調査では実施しない「土質採取」「水位測定」の調査結果を基に判定
- ・ 地盤と建築のプロが推奨する建築方法を提示



「地盤カルテ®PLUSレポート」を工務店、ハウスメーカーにご持参頂くことで、地盤条件を踏まえた理想の住まい造りに役立てることが可能に。

IoTとAI化による地盤の見える化



新スマート地盤システム開発



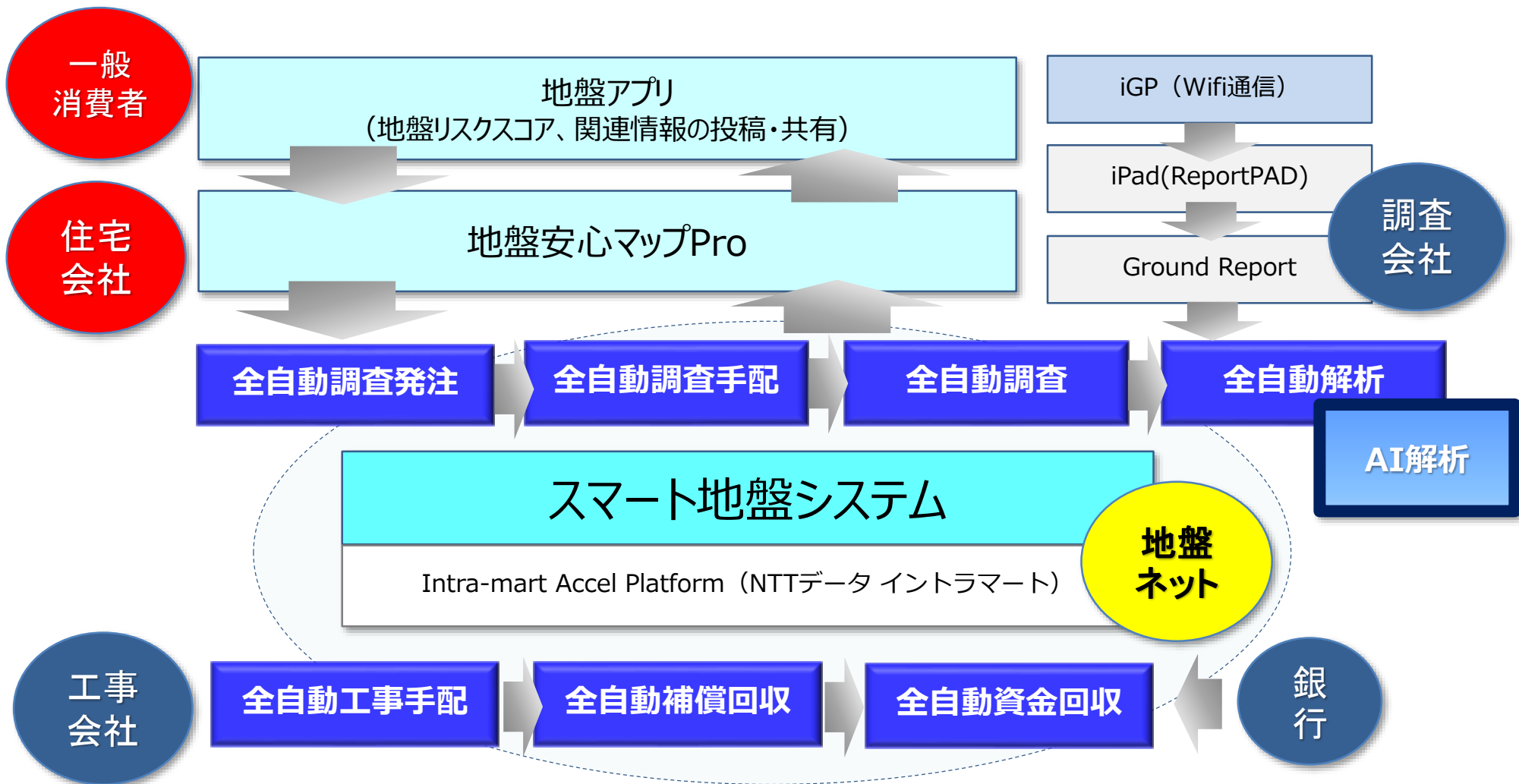
ワンストップで
総合サービスを提供

シームレスな
業務連携

生産性UPにより
業務効率の向上

業務統合により
スピーディーな
経営判断

今後の取り組み



**AIとフルオートメーション化により
さらなる信頼性・業務効率の向上へ**

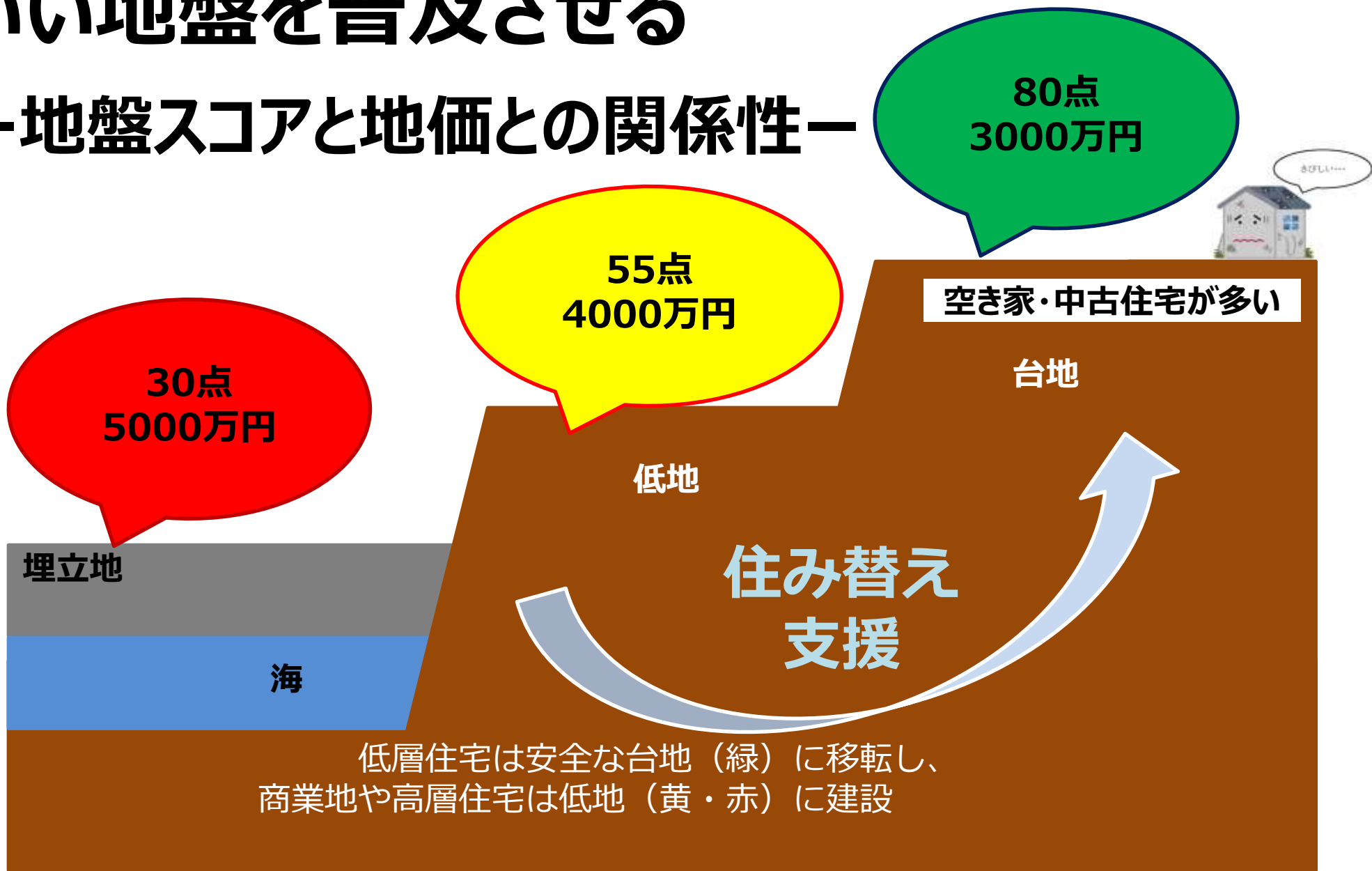
3. 第2創業

ビッグデータで不動産革命を起こす

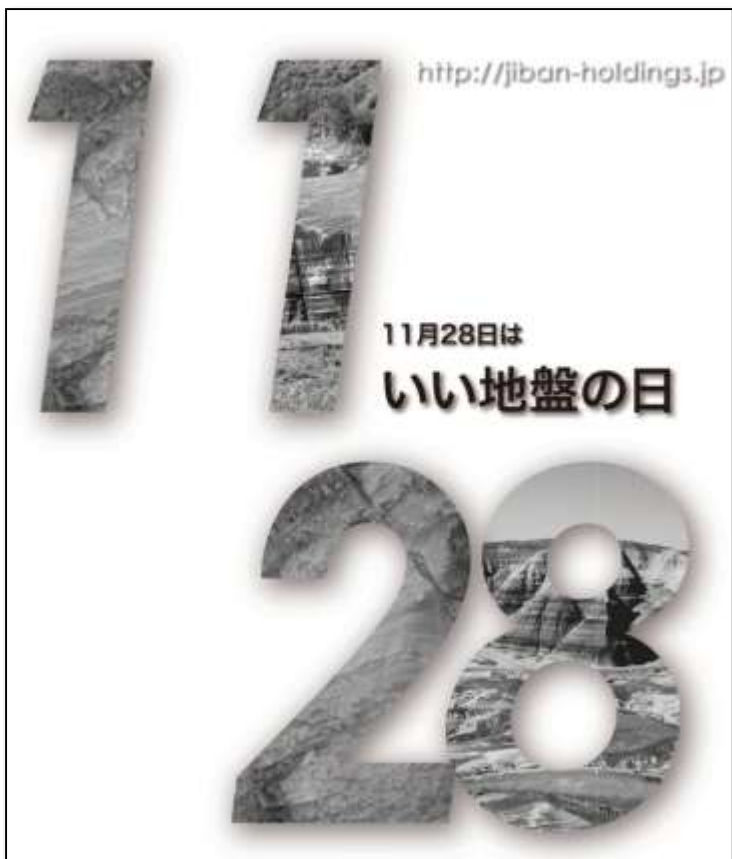
ホップ！ ステップ！ **ジャンプ！**

いい地盤を普及させる

—地盤スコアと地価との関係性—



いい地盤を普及させる -いい地盤の日-



◎「いい地盤」への住み替え
促進を訴求する新CM発表

◎「いい地盤」を紹介する
マッチングサイトを開設

新CM -地盤ネット ジバンガー-



【出演者】

- ・地盤安心PR大使 俳優 神保 悟志さん
- ・地盤安心PR大使 女優 葵 わかなさん
- ・エド はるみさん

いい地盤の紹介マッチングサイト

新たな価値創造への考え方 ～不動産サイト誕生について～

不動産サイト「地盤ネット」が提案するもの

地盤情報 × 住宅(土地)情報 ＝新たな価値の創造

地盤情報＋土地情報

＝単なる不動産情報サイトでは、静的な驚きはあっても行動に移らない。

地盤情報 × 土地情報

＝新しい不動産価値の創出。

単に情報を提供するだけでなく見た人に「行動」を促す。行動はビジネスチャンスを生む。

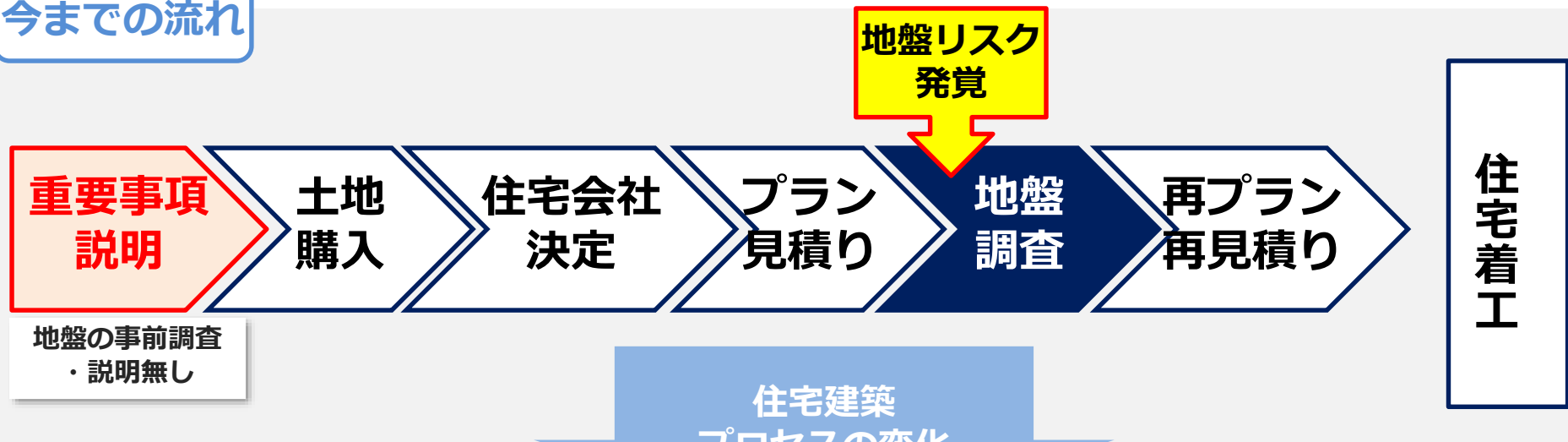
ビジネスチャンス

- 不動産会社:旧価値感での不人気物件の販促につながる→調査件数増加
- 工務店:価格差を利用したリフォームビジネスの創出→補償依頼の増加
- デベロッパー:過去のニュータウンを再開発→改善策を提案する新ビジネス

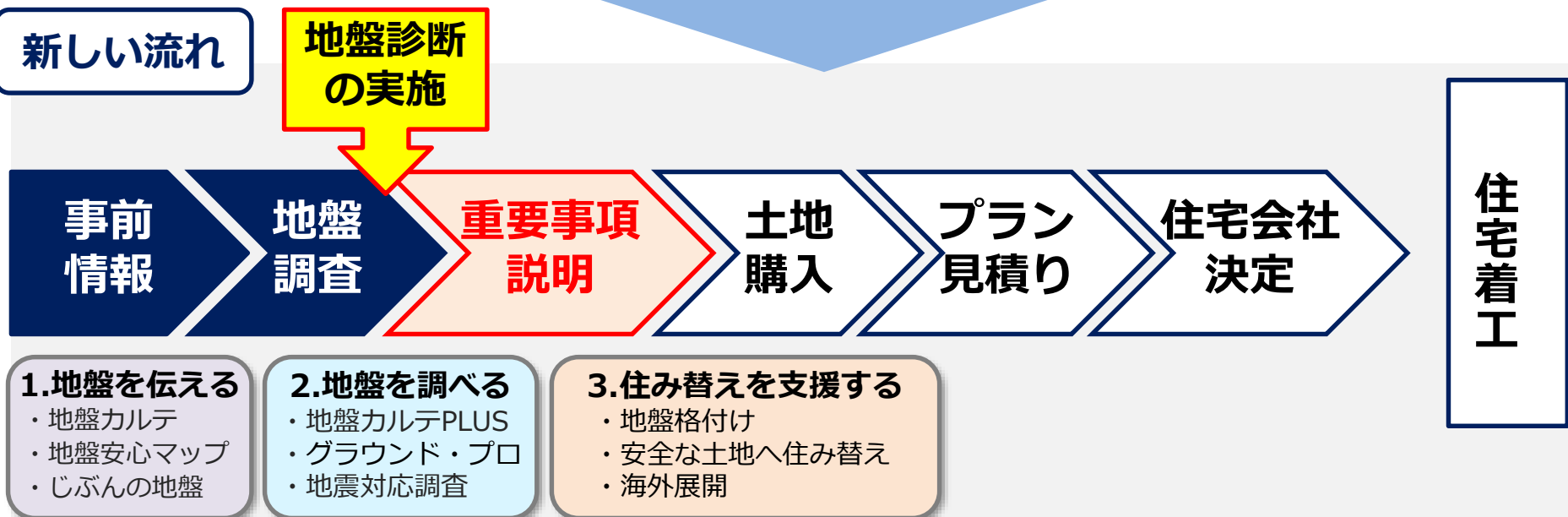
掛け算の情報から、行動を促されたプレイヤーが
さらに掛け算で新たなビジネスを創出していく動的衝動を起こす不動産サイト。

土地購入のパラダイムシフト

今までの流れ

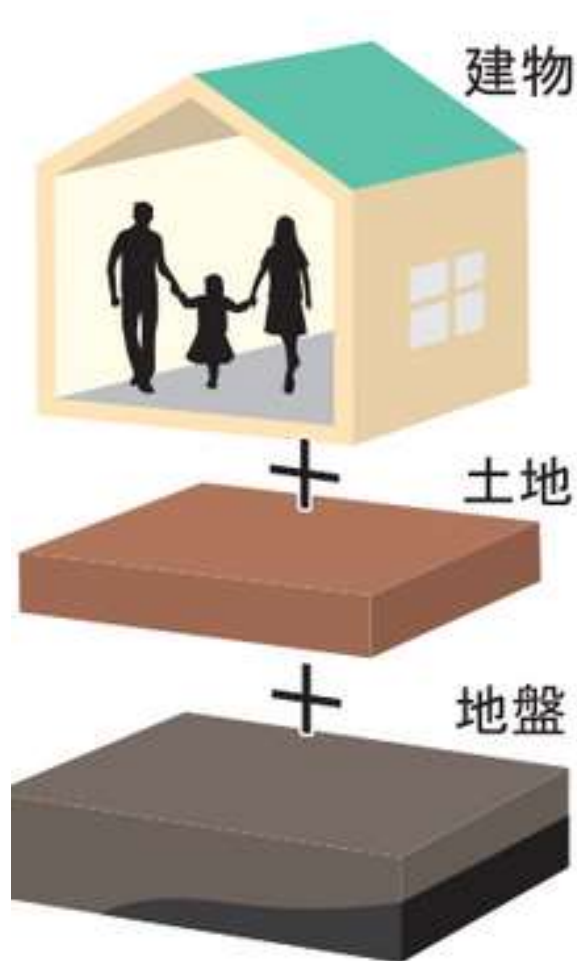


新しい流れ



安全・安心な不動産物件

①建物、②土地（基礎下）、③地盤
三位一体の対策を提案します。



建物

構造計算に基づいた
耐震性の確保された住宅
継続的な建物検査・補修に
よる適切な維持管理

+ 土地（基礎下）

建物に地盤からの地震動を
伝えない減震地盤工法

+

地盤

高精度の地盤調査・解析に
基づいた安心な地盤補償

地盤×構造インスペクター

一般社団法人 地盤安心住宅整備支援機構 認定資格

「地盤×構造インスペクター」講座開講のご案内

本講座は安全な住まいを「提供する側・依頼する側」がそれぞれが「いい地盤の定義」を知り、高度なスキルを得ることが出来る特別講座です。



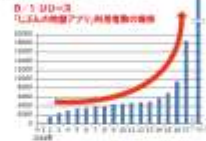
いい地盤の定義を学ぶ。

過去の事例から見えてきた

土質・地盤・コンクリート強度の測定・評価のノウハウを学ぶ。最新の測定機器・評価手法を学ぶ。最新の測定機器・評価手法を学ぶ。

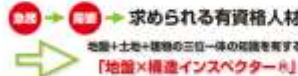
何故、今「地盤×構造インスペクター」に注目が集まっているのか。地盤インスペクターが求められるようになった経緯とは？

過去の地震被害の経験、被害から、消費者の関心は地盤に向き始めています。弊社がリリースした「じばんの地盤アプリ」のユーザー数が40万人を突破していることから、その関心の高さがわかります。



その消費者の相談に対応出来る人材が不足している現状。

今まで不動産購入においての関心は「建物」に注ぎがちでしたが、「じばんの地盤アプリ」がリリースされてからは「地盤と建物」両方の情報が必要になっています。しかし、業界は「地盤と建物」両方の知識をもっている人材が少なく、これらの知識を有する人材の育成が急務となっているのです。



講師
岩野 実
一級建築士
構造設計一級建築士
国土院国土総合研究所 構造設計
技術主任

2016.11./29(木) 18:00~21:00
地盤工学会特別会館 地盤大会会場
受講料 25,000円(税込)
※地盤インスペクター一級試験の申込
料は別途 20,000円(税込)

「地盤×構造インスペクター」プログラム

- 特別講座1 戸建て住宅における地盤と建物の役割
- 第 1 講 地盤調査事例から見える「いい地盤」とは
- 第 2 講 いい地盤を完成した不動産選びのポイント
- 第 3 講 地盤地盤地盤調査から得られた建築地と地盤の関わりと課題
地盤を踏まえた建物構造のポイント 1
D・I・D・D・D 建築地の付帯調査
- 民間構造士で建築等設計のポイント
- 第 4 講 地盤を踏まえた建物構造のポイント 2
各部の構造設計「耐力」「基礎」
DWG図解の読み取り方と図解解説・地盤補修Dポイント

特別講座2 建設
一級建築士から見た良質な土地選び・建設のためのポイント
終了試験 終了記録

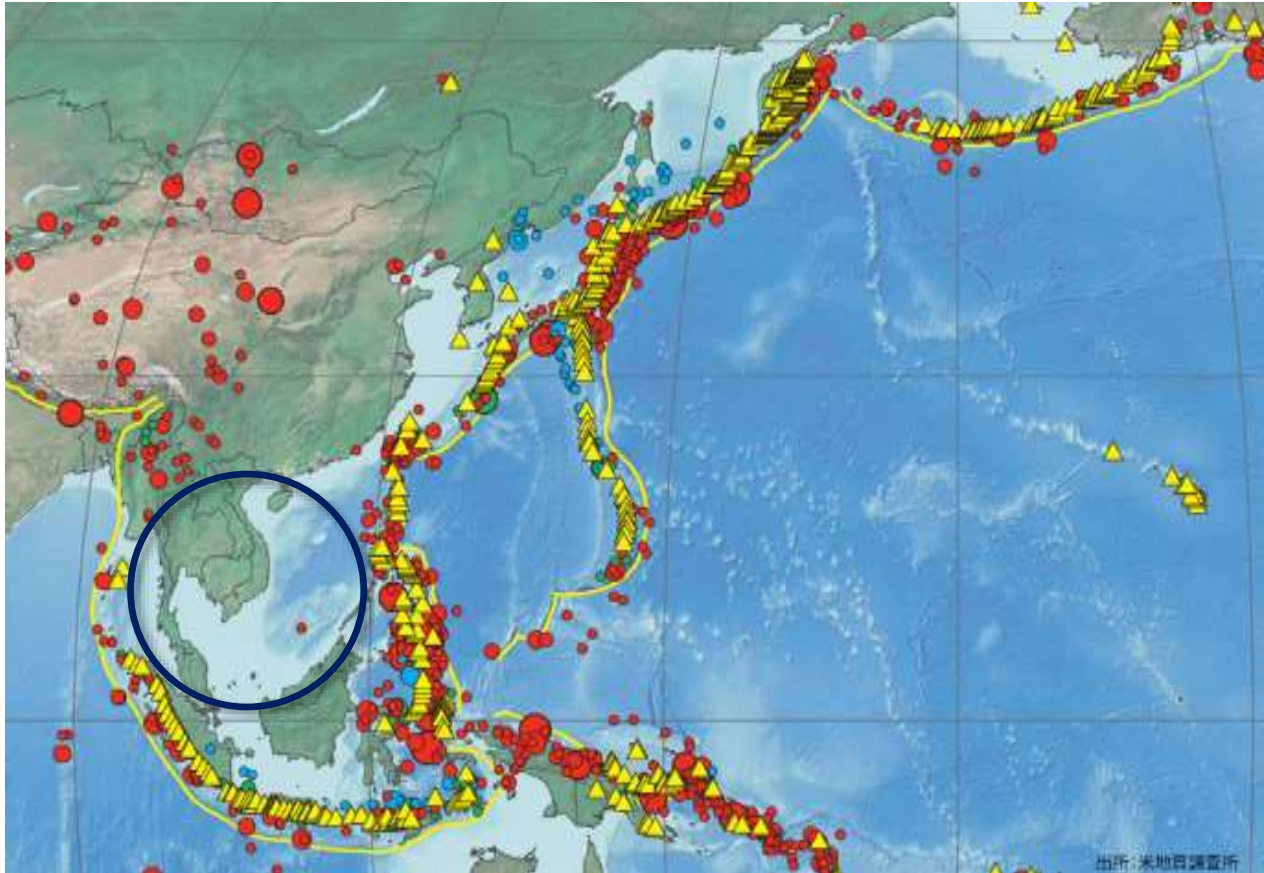
受講すると **終了証** 取得すると **資格者証** 受講料 10,000円(税込) (別途送料)

● 開催日時・会場 ●
【東京】2016年11月29日(木) 地盤工学会特別会館 地盤大会会場
【東京】2017年10月28日(土) 地盤工学会特別会館 地盤大会会場
【名古屋】2017年11月18日(土) 建設事務所 建設士会館
【札幌】2017年11月18日(土) 建設事務所 建設士会館
● 受講資格 ●
一級建築士、二級建築士、国土院国土総合研究所 構造設計技術主任
● 受講料 ●
10,000円(税込) (別途送料)
● 資格者証 ●
一級建築士、二級建築士、国土院国土総合研究所 構造設計技術主任
が取得すると発行されます。
● 終了証 ●
一級建築士、二級建築士、国土院国土総合研究所 構造設計技術主任
が受講すると発行されます。

「地盤インスペクター一級試験講座」「地盤インスペクター一級試験講座」の受講料についてはお問い合わせください。

海外事業～JIBANNET ASIA CO., LTD.～

ベトナムでの地震発生頻度



事業内容

- 解析業務・データ入力業務・バックオフィス業務
- アジア圏での住宅地盤関連情報収集、各種マーケティング活動
- 地盤調査請負・補償事業

**ベトナム = 安心・安全な地盤
プレートの中にあるため地震発生が極めて低い**

海外事業～JIBANNET ASIA CO., LTD.～

ダナンでのビジネス展望

山側の丘陵地域に地盤の良いエリアが存在



- 地盤の良い丘陵地域
- ベトナム中部最大の都市
- オープンな投資促進政策
- 海外からの投資に積極的





地盤を正しく知れば、地震は怖くない



地盤ネットホールディングス



住宅地盤の専門医
地盤ネット



地盤ネット総合研究所
Jibannet Research Institute